



# 1・2級建築士合格祝賀会

## 難関突破の喜び分かち合う

### 総合資格学院山口校



お祝いの言葉を述べる  
石村学校長

総合資格学院山口校  
(山口市小郡みらい町、石  
村彦彦学校長)は9日、  
山口市小郡黄金町の山口



祝賀会に参加した皆さん

グランドホテルで「2022年度1級・2級建築士合格祝賀会」を開き、建築関係団体からの来賓が出席する中で、合格者をサポートしてきた講師や学院スタッフらとともに難関試験を突破した喜びを分かち合った。

会の冒頭であいさつした石村学校長は「これから皆さんは、有資格者として建設業界を牽引していかねばいけない。これからの技術者には安全で快適な建物の構築が今まで以上に求められる。さらなる高みへと努力し、今後の実務と社会貢献に役立ち、人生設計の柱となるよう頑張ってもらいたい」とエールを送った。

来賓を代表して山口県建築士事務所協会の小倉凡会長と山口県建築士会の児玉尚専務理事があいさつに立ち、小倉会長は「建築を楽しむ、楽しくなければ建築ではない」、これは私が常々言っている言葉。苦勞して建築を完成させた竣工の喜びは何ものにも代えられない。苦しかったけどまた頑張ろうという気持ちで、これから業務に励んでもらいたい」と激励し、児玉専務理事は、講習会の開催など土会の活動状況を説明しながら「我々といっしょに活動し、新しい情報をどんどん取り入れて立派な建築士になってもらいたい」と述べた。

続いて、講師を代表して1級建築士設計製図担当の清田泰司講師が「ゴールではなくこれからがスタートであるという心構えをもって、あらゆる事案に対応できる実力を身につけてもらいたい」と、今後の活躍に期待を寄せた。

その後、石村学校長が合格者一人ひとりに修了証を手渡しながら労をねぎらった。合格者を代表して1級建築士に合格した長松壮一氏がお礼の言葉を述べた後、坪郷浩一講師の乾杯の音頭でしばし談笑した。

最後に、土会の今村剛浩部長ら青年部が「資格を得たことで社会的責任が重くなるが、仲間をたぐさんつって、情報などを共有して、スキルアップにつなげてもらいたい」とエールを送り、木原裕也講師の一本締めで祝賀会を終えた。

石村学校長によると、22年度の1級建築士試験では全国の合格率は学科試験で21・0%、設計製図33・0%、最終合格率9・9%と難関であったが、総合資格のストリート合格は全国で57・9%の占有率で、ストリート合格者8人中4人と山口校が50%を占めた。また、2級建築士試験は設計製図試験の合格率52・5%に対し、山口校は15人中12人が合格した。